

# 令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

## 北九州市立 東谷 中学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和3年6～7月に、2年生を対象として、「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。  
この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。  
本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。  
運動習慣は、学校のみでなく、家庭で運動と一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本年度、本市においては「体力・運動能力」についての調査は実施していません。

### 1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

### 2. 本市における調査内容

#### (1) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の2年生は、単学級ですので、個人が特定されるような公表の方法については、配慮しています。

### 3. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

#### 質問紙調査の結果分析

○男女ともに「運動やスポーツをすることは好きですか」の問いに80%以上の生徒が「好き」「やや好き」と答えている。その中で好きな理由として「友達や仲間と一緒に活動できる」が83%おり、周りとともに活動することに楽しさや喜びを感じる場面が多いと考えられる。  
○運動やスポーツが「やや嫌い」「嫌い」の理由として怪我をすることが怖いと回答した生徒が多かったため、今後はより安全に運動やスポーツに取り組ませていく必要がある。

### 4. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で)

○ハンドボール投げを苦手とする生徒が多いため、授業の中で投げる動作を取り入れたウォーミングアップを行う。  
○上体起こしの記録が伸びていないため、腹筋運動等の動きを取り入れたウォーミングアップを行う。

#### ② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

○体育委員会の取組みとして、毎月初めの1週間は「ノーカー週間」として自転車または徒歩で通学し、運動時間を増やしていく。  
○校内駅伝大会の取組みを通して、運動の基礎となる全身持久力の向上を図るとともに、保護者にも係補助として参加していただき、運動に継続的に取り組む大切さを啓発していく。